



行動問題の原因のまとめと対応法を考えるシートの記入手順

① 記録を基に下段の問題行動に関する A-B-C を完成させる。

② 行動を悪化させるマグマ要因を記入する。

③ 1. 行動問題を起きにくくする環境整備を考える。

問題行動を生じにくくするような環境設定の工夫、適切な行動をとりやすくするために、予定や手順、終わりや切り替えをわかりやすく視覚的に伝える方法を考えるなど。

④ 2. 本人がより適切に問題解決する行動を考える。

これは対象者自身がその場で望んでいることを実現するためのより適切な行動のことで、行動問題でもたらされるのと結果は同じ。適切なコミュニケーション行動であることが多い。発語やコミュニケーションに困難がある子どもには代替コミュニケーションを支援する。

⑤ 3. 本人にして欲しい適切な行動として欲しくない行動を考える

前者は支援者が対象者にその場で取ってほしいと望んでいる行動。後者は看過できる程度にして欲しくない行動。

⑥ 3. 強化の手続きと消去の手続きを考える。

強化①して欲しい行動を見逃さず褒めたり声をかけたりする

②ご褒美となる遊びや活動、トークン、自然な好子の提供など。

消去①無視（言葉や行動に応答しない。消去バーストに注意）

②誘惑や刺激になるモノを隠すなど

⑦ 4. 弱化的手続きは、問題行動自体を弱化する手続きを考える。

弱化的①問題行動をしないように言葉による叱責や視覚的な禁止やルール

②問題行動後のタイムアウト（一定時間、好子の接触を制限する）

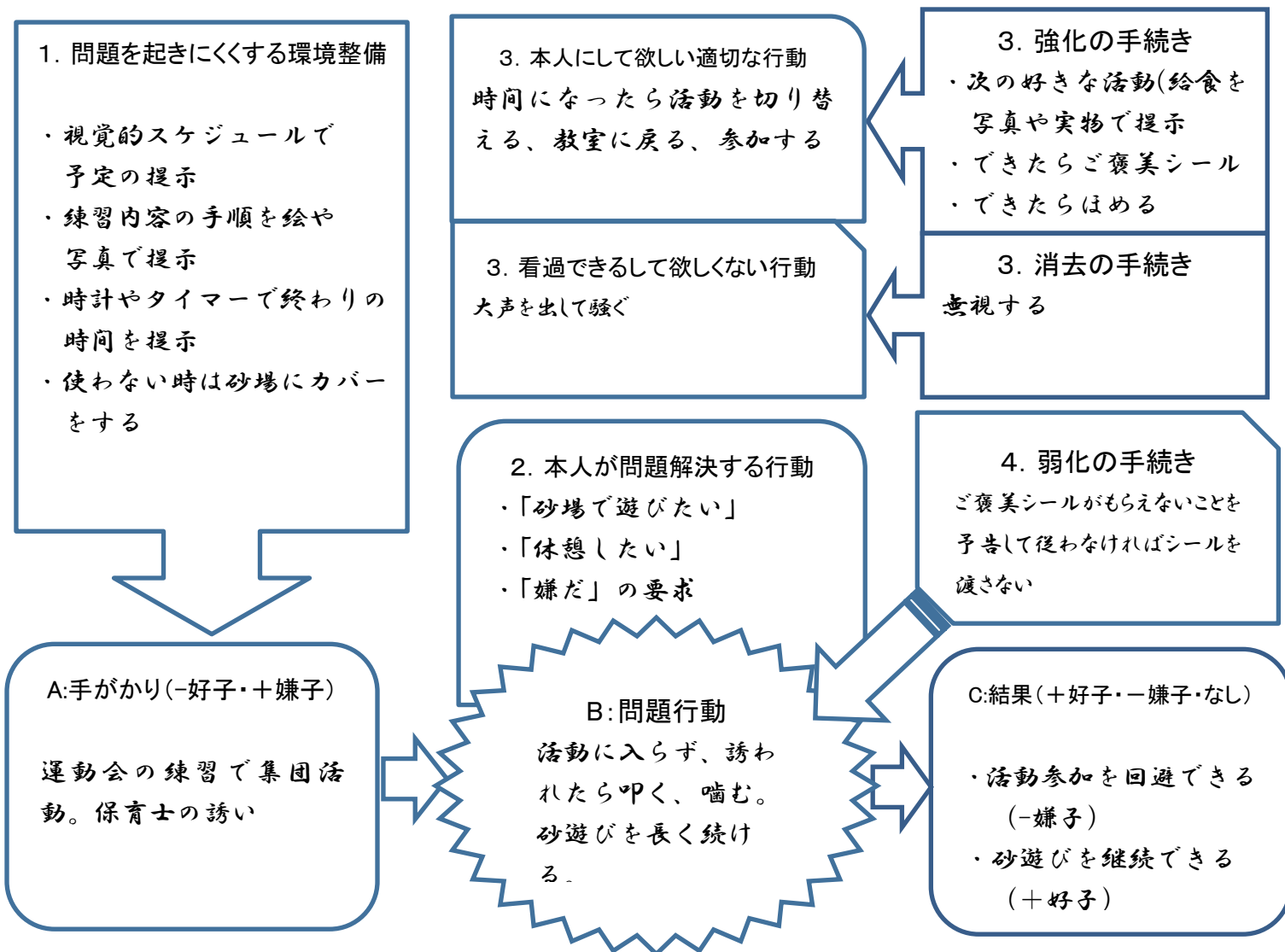
③問題行動後のペナルティ（ある一定量の好子や報酬を取り上げる）

④問題行動後の過剰修正（負荷のかかる活動を科す）

<注意>倫理的な問題が起こらないように手続きの実施については、同僚や上司と相談して実施する。承諾書を作成し保護者の承諾を得る。一定期間実施して、記録を基に効果をもたらさない手続きは、止めたり、変更や修正を加えたり、専門家を交えた支援会議等を開き必ず検討を行うこと。



行動問題の原因のまとめと対応法を考えるシート(記入例)

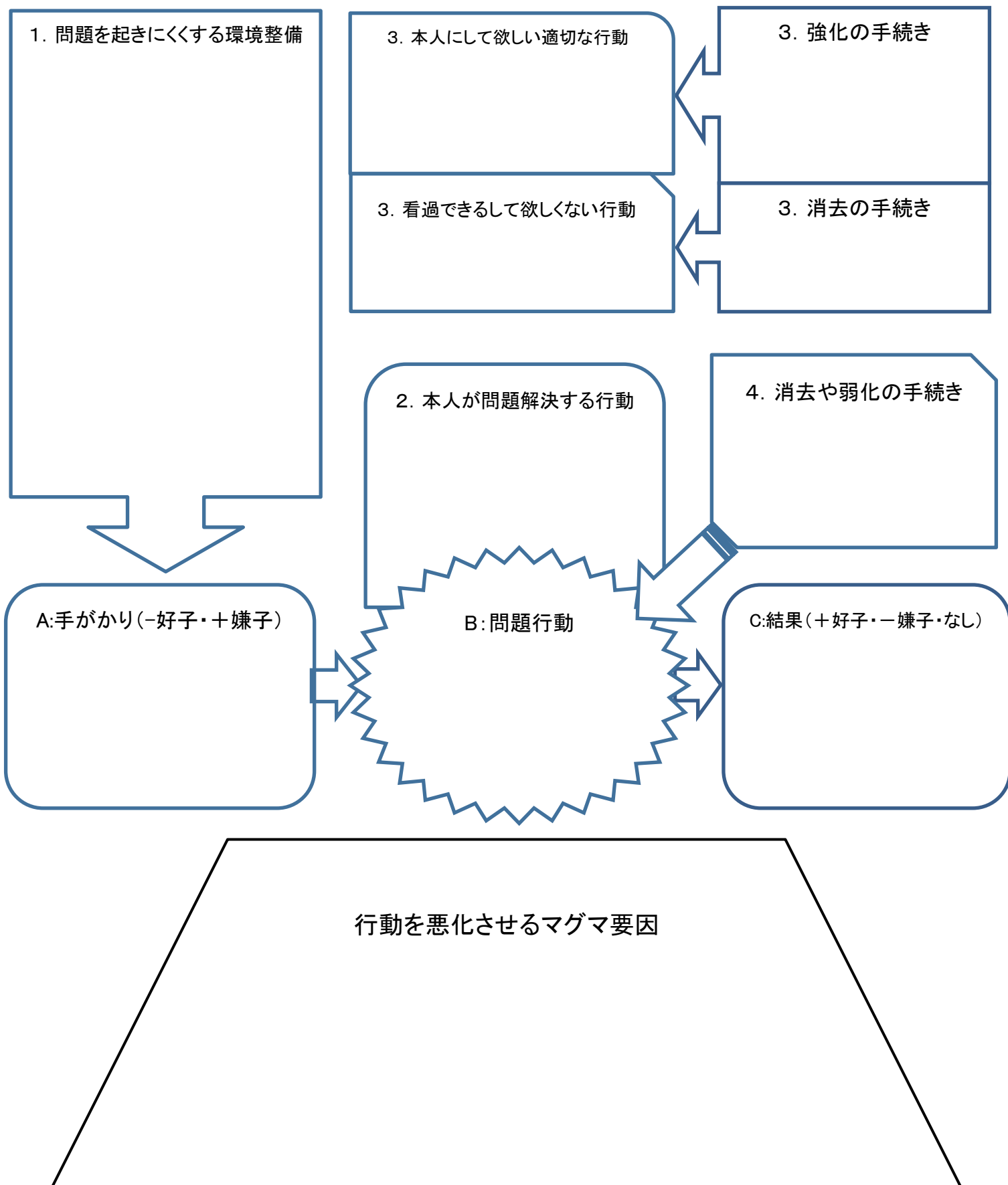


行動を悪化させるマグマ要因

- ・運動会の練習期間でストレス多い
- ・集団での活動が苦手
- ・自発的コミュニケーションに乏しい



行動問題の原因のまとめと対応法を考えるシート





行動問題の原因のまとめと対応法を考えるシート

